

都立国際高校 年間授業計画 / Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度 (Academic year)	令和6年度 (2024年度)
開講学科 (Department)	国際学科 / Course of International Studies
教科 (Subject Area)	国語
科目 (Subject)	古典探究
担当者 (Subject Teacher)	早川・松田・櫻井
学年・クラス (Grade・Class)	2学年
単位数 (Number of units)	3単位
使用教科書 (Text Books)	筑摩書房「古典探究 古文編」「古典探究 漢文編」
校外学習 (Field trip)	

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

<p>【知識及び技能】 (Knowledge and Skills) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves) 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity) 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。</p>
--

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

○ 授業計画 (Course schedule)

単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域 話・書・読	評価規準 Evaluation Criteria	Alotted hours			
				知 ①	思 ②	態 ③	配当 ④ 時数
和歌と散文部分(詞章)が紡ぎ出す歌物語の特質に触れ、かけがえのない行為として和歌を詠む人々の、人生の断面を把握することが、それぞれ章段に共通する目標となる。	古文 伊勢物語 初冠 渚の院 漢文 知音 曳尾於塗中		<p>①【知識・技能】</p> <p>②【思考・判断・表現】</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。 	○	○	○	17
定期考査 Examination				○	○		1

1st semester

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域		評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配 当 時 数	
			語 彙	書 読						
1学期(1)	<ul style="list-style-type: none"> 作者の主張や作者が感じたことを読み取らせる。 重要古語や文法を身につけさせる。 平安時代の価値観や季節感をふまえて文章を読ませる。 平安時代の貴族の生活について考えさせる。 作者の継母に対する心情について理解させる。 「なむ」の識別について理解させる。 話全体が、贈答歌を焦点とした、作者と継母の共感の関係を描いていることを理解させる。 	枕草子 中納言参りたまひて 二月つごもりごろに 蜻蛉日記 嘆きつつ 漢文 漢詩 ・独坐敬亭山・九月九日 ・旅夜書懷	○	○	○	①【知識・技能】 ②【思考・判断・表現】 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。	○	○	○	22
	定期考査 Examination					○	○		1	
2nd semester)	<ul style="list-style-type: none"> 場面の展開を的確に読み取り、物語の流れを把握する。 登場人物の心の動きを読み取る。 和歌、自然描写などの表現に注意して文章を読み味わう。 作者の〈描き方〉に着目して内容を読み取る。 物語に描かれた平安時代の社会の仕組み、人々の生活やものの見方、感じ方など時代背景を押さえながら物語の内容を読み取る。 重要古語、文法を理解する。 光源氏をはじめ女君の描かれ方、その人生への関心を通して、作品世界全体への興味を広げる。 漢文の読解を通して孟子と荀子の思想について理解する。 	源氏物語 光源氏の誕生 若紫の君 漢文 思想 四端 性悪	○	○	○	①【知識・技能】 ②【思考・判断・表現】 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。	○	○	○	27
	定期考査 Examination					○	○		1	

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域			評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配当 時数
			語	書	読					
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 作者の継母に対する心情について理解させる。 「なむ」の識別について理解させる。 話全体が、贈答歌を焦点とした、作者と継母の共感の関係を描写していることを理解させる。 	更級日記 継母との別れ 源氏の五十余巻 漢文 鴻門之会	○	○	○	①【知識・技能】 ②【思考・判断・表現】 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。				25
	定期考査 Examination					○	○		1	
3学期 (3rd semester)	<ul style="list-style-type: none"> 老翁二人の座談を聞いた作者が記録したという形式を理解させ、他の歴史物語の語り方との違いを理解させる。 敬語・呼応表現などに注意して、現代語訳ができるようにさせる。 登場人物の発言や行動から、心理や性格を読み取らせるとともに、歴史的背景と合わせて行動原理などについても考えを深められるようにさせる。 平安時代の貴族階級の教養について理解させる。貴族男性は実際上和歌が詠めることが必須であるが、公的文書や私的記録は漢文で書くことが多く、外国語である漢文は和歌より上位とされた。 	大鏡 雲林院にて 花山院の出家 南の院の競射 漢文 四面楚歌	○	○	○	①【知識・技能】 ②【思考・判断・表現】 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。				21
	定期考査 Examination					○	○		1	